

食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第16回 2019年9月)



自慢じゃないけど……と枕詞につける時って、たいてい自慢なんだよね。でも食いしん防は正直者なので、本当に自慢じゃありません。

自慢じゃないけど、小さいころから老けて見られていた。幼稚園児のころは小学生と間違われ、小学生のころはバスで大人料金を取られそうになった。18歳の時には初対面の人から「お子さんは何人？」と訊かれた。「いません」と答えると、「でも結婚はしてるんでしょ？」と言われた。実際は結婚はおろか恋人すらいなかったのに……



このまま実年齢より老けて見られながら1人寂しく死んでいくのかと思っていたが、30才を過ぎたあたりから潮目が変わった。年齢相応に見られるようになったのである。40を超えると逆に若く見られた。メタボの指導を受ける体型なのなのである。いったい食いしん防の身に何が起こったのか？ ひょっとして今住んでいる家が実は竜宮城で、妖怪人間ベラ似のわが妻は乙姫さまだったのか！？ ……いや、絶対にそれはないな！

アンチエイジングを意識した生活を送っているわけでもない。心当たりらしきものがあるとすれば、それは薬嫌いということ。生まれてこのかた、飲み薬を使用したことがひたすら睡眠をむさぼる。1晩眠ればたいていスッキリだ。お腹が痛いときはトイレに走る。胃腸を空っぽにして食欲がわくまで何も食べずにいればほぼ解決だ。



つまりは自分の免疫力をフル活用するという方針なのだ。たまに薬を飲むとびっくりするほどよく効く。「これはいつもと違ってヤバい」と感じるときは、病院へ駆け込めばあっという間に全快だ。むろん失敗も多々あるけど、基本的にはこのやり方で健康を維持してきた。それが功を奏したのか。あれ、ひょっとして自慢になってる？



まあ実年齢より若く見える本当の理由は、おつむの中身がティーンエイジャーのころからちっとも進歩してないからでしょうな。このコーナーを毎回読んでくれている方なら、その意味をわかってくれるはず。

防災コミュニティ部会では筆者以外にも、若く見えて実際に若い人から年配に見えてやっぱり年配の人まで、あらゆるキャラがそろっています。いないのは金持ちに見えて実際にご飯をおごってくれる人と、美女に見えて化粧を落とすとさらに美しくなる人くらい。

さあ、これを読んでいるあなたも入って見ないか！？



☆こと防のブロック会議が、次々と……

8月7日、湖東コミセンで「湖東地区防災ネットワーク」の第二小学校ブロックの会議が開かれました。情報交換で盛り上がった後、今年度の活動として地区内の防災先進地見学を決定しました。選ばれたのは、農村下水処理場跡を防災施設として



活用している中一色町と、自前の防災倉庫を建てている勝堂町。両方を見せてもらうことで、良いところを学ぼうというベリグーな企画です。

←第二小ブロック会議の様子

さらに20日には、支所ブロックの会議も開かれました。所属自治会の代表全員が出席して活発な情報交換や議論が行われ、昨年度に決められた「交流することで連携を深めていく」という方針を受け継ぐことになりました。今年度の活動としては、同じく防災先進地訪問で、池庄町の防災運動会を見学させてもらうことに。

支所ブロック会議の様子→

2年目を迎えてこと防の各ブロックは、次々と会議室を飛び出して実際的な活動に軸足を移そうとしています。防災先進地の施設や活動を見学し、話を聞かせてもらうことによって、自分たちの備えの参考にしようというわけです。今後の活動から、ますます目が離せません！



☆夏休みはハイゼックスでクッキング！

8月5日、湖東コミセン別館で開かれていたサマホリで、ハイゼックス炊飯袋を使った防災クッキング体験教室が行われました。炊飯袋に米と水を入れ、鍋で煮ること30分。「すごい、ご飯が炊ける！」海苔を敷いた上にほかほかご飯とおかずを載せ、おにぎらずにしました。



鍋で煮るのだ！

さらにチーズオムレツにも挑戦！ 炊飯袋に卵を割り入れ、牛乳と塩を加えて仕上げにスライスチーズをちぎって入れる。袋ごと10分煮ると、あっと驚く美味しいオムレツの出来上がり。「チーズがとろとろだ〜」

とろとろなのだ！→



さらに24日には、同じくコミセンで横溝ニュータウン自治会による親子防災クッキング体験教室も。役員さんが事前に予行演習をされ、浸水させた米とさせてない無洗米で炊いてみたところ、浸水なしでもOKなことを発見。この日も浸水なしでおいしくできました。いやー食いしん防も知らなんだ新事実。勉強になりました。

おいしさ保証済みのチーズオムレツも作り、みんなそろって「いただきます！」食後には子どもたちが防災カルタに興じ、その傍らで大人にはミニ防災研修を受けていただきました。

大規模災害時に食は切実な問題となります。「支援物資が来るからいいや」とあてにするのではなく、外からの助けが来るまでの2～3日間を自力で乗り切るための備えが必要です。てなことを考えるきっかけになってくれればいいなー。



おいしいのだ！



カルタを取るのだ！

今後の活動予定

- 9月 4日 ひばり幼稚園防災教室
- 25日 どむどむ子ども防災教室
- 10月 6日 池庄町防災運動会
- 11月 3日 ふるさとまつりでの啓発活動
- 17日 池庄町DIG出前講座
- 24日 小田苅町防災マップ作り
- 12月 1日 横溝町DIG出前講座



勝手にQ&Aコーナー

Q：炊飯袋を使っても、炊くための火は必要ですよね。大規模災害で電気やガスが止まったらどうすればいいんですか？

A：キャンプやバーベキューの道具を使う手もありますが、慣れてる人向きですね。カセットコンロの備蓄がオススメです。

Q：防災コミュニティ部会は変人の楽窟ですか？ 入るのが怖いです。

A：安心してください。変人は筆者だけです。

楽しい質問、お待ちしております！

